

長期投資家の皆様へ

6月の金融市場は、Brexit(英国のEU離脱)問題に翻弄されました。月初から中旬までは、国民投票で離脱派優勢が伝わる都度、世界の株式市場は弱含み、逆に投票日直前数日間では残留派勝利を市場が織り込んだ動きで、株価は大きく値を戻していました。そして結果はご存知の通りとなって、当日は世界同時株安が発生し、一日で世界の株式時価総額がざっと300兆円規模逸失したと大騒ぎになりました。それから月末までの1週間は、激情的に下落して安くなった株式の買戻しが続き、金融市場の動揺は一服したようです。

ところで国民投票直後の相場急落は、専ら短期投機筋マネーの瞬発的なラッシュ売りによるもので、決してこの先の経済危機を予知するものでも、その困難度合を正確に反映したのものでもありません。

もちろん英国のEU離脱は、EU全体へ大きな影響を与え、英国自体に大きな困難を予測させる大変残念な事象の発生ではありますが、これが必ずや世界経済全体を損なうわけでもなく、グローバルゼーション構造下では、新たな担い手となる代替経済が顕現して、経済活動を継続させて行くはずで、EUの政治的問題がどうであれ、世界の生活者の日々の生活、即ち実体経済の営みが変わるわけではありません。

そして、人間社会はこれまであらゆる危機を、必ずや乗り越えて来ているという歴史的事実を振り返ることが、今こそ長期投資家にとってとても大切なことです。

相場の動揺に共振してしまっは長期投資は、おぼつきません。今回のBrexitは、これからもしばらく不確実な状況が続けるでしょうが、私たちの長期投資マネーは長期経済活動に参加しているのであり、Brexitに過剰反応した相場で勝負しているわけではありません。

「セゾン号」にはちゃんと長期コツコツ資金が入り続けていて、安くなった価格水準をしっかり買い手として享受しながら、実体経済の成長軌道の中を泰然と進んでいます。

中野 晴啓

今月の市場動向

世界の株式市場についての概況

株式市場は、米国がほぼ変わらずとなり、イギリスが上昇したほか、新興国が総じて堅調な展開となったものの、多くの国で下落しました。

序盤、米国で発表された製造業の景況感指数が予想外に上昇し、先行きに対する明るい見方が広がって堅調な展開となり、その後は米国の雇用統計が弱い結果となったことを受けて利上げ観測が後退し、一段と上昇しました。

中盤にかけては、原油価格が上昇してリスク選好が強まったこともあり、上昇する局面もあったものの、欧州連合(EU)離脱の賛否を問う国民投票を控えたイギリスの世論調査で、離脱派が勢いを増していることが示され、混乱への警戒が高まったことを受けて反落に転じ、その後も中国で民間投資の落ち込みが確認され中国経済の先行きに対する懸念が高まったこともあり、軟調な展開が継続しました。中盤には、米連邦公開市場委員会(FOMC)を経て、米国の利上げ観測が一段と後退して、株式市場は底堅い展開となり、その後はイギリスの世論調査で残留派が勢いを盛り返していることが示されたことを受けて、混乱への警戒が弱まり、反発に転じました。終盤には、イギリスの国民投票で、欧州連合(EU)からの離脱が予想外の賛成多数となったことを受けて、混乱が広がると共に先行きへの不透明感が広がり、大きく下落しましたが、世界的な金融緩和観測が広がったこともあり、その後は落ち着きを取り戻して反発に転じました。

6 月度の商品価格の動向

	終値	騰落率
NY原油先物(WTI/直近限月) / 1バレル	48.33ドル	-1.57%
NY金先物(中心限月) / 1トロイオンス	1320.6ドル	+8.47%

イギリスの欧州連合(EU)からの離脱が決定的な状況となり先行きへの不透明感が広がったものの、米国の利上げ観測が大きく後退するなど世界的な金融緩和観測が広がったことが株式市場を下支えしました。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

6 月度の市場動向について

米国株式

米国の株式市場は、ほぼ変わらずとなりました。

序盤、製造業の景況感指数が予想外に上昇し、景気の先行きへの明るい見方が一段と強まって堅調な展開となり、その後発表された雇用統計では非農業部門の雇用者数の伸びが予想を大きく下回ったことを受けて、景気の先行きへの明るい見方は後退したものの、6月に利上げが行われるとの見方が急速に後退したことから、堅調な展開が継続しました。中盤にかけては、イエレン米連邦準備制度理事会（FRB）議長が講演で、利上げに関して明言を避けたことで、利上げ観測が後退して安心感が広がるなかで、原油価格が上昇してリスク選好が強まり上昇する局面もあったものの、その後はイギリスの欧州連合（EU）離脱懸念が高まったことを受けて混乱への警戒が強まり、反落に転じました。しかし、中盤に開催された米連邦公開市場委員会（FOMC）では予想通り利上げが見送られたほか、参加者の政策金利の見通しが下方修正されたことを受けて、利上げ観測が一段と後退したことから、安心感が広がって底堅い展開となりました。

終盤にかけては、イギリスの欧州連合（EU）離脱懸念が後退したことを受けて、混乱への警戒が和らぎ、一段と上昇する局面もあったものの、終盤に開催されたイギリスの国民投票では、欧州連合（EU）からの離脱が予想外の賛成多数となり、混乱が広がると共に先行きへの不透明感が広がり、大きく下落しました。しかし、その後は利上げ観測が一段と後退したこともあり、落ち着きを取り戻して反発に転じました。

6 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
ダウ・ジョーンズ工業株価平均（米ドル）	17929.99	+0.80%
S&P500（米ドル）	2098.86	+0.09%
ナスダック総合指数（米ドル）	4842.672	-2.13%

米連邦公開市場委員会（FOMC）参加者の政策金利の見通しが一段と引き下げられたほか、イギリスの欧州連合（EU）離脱が決定的な状況となったことから、米国の利上げ観測は大きく後退しています。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

欧州株式

欧州の株式市場は通貨ボンドが大きく下落したイギリスで上昇したものの、それ以外は下落しました。序盤から、イギリスの欧州連合（EU）離脱の賛否を問う国民投票を控えて欧州経済の先行きへの不透明感が広がるなかで軟調な展開となり、その後も米国の雇用統計が弱い結果となったことを受けてドルが下落してユーロが上昇したこともあり、軟調な展開が継続しました。その後は、原油価格が上昇してリスク選好が強まり反発に転じる局面もありましたが、イギリスの世論調査で欧州連合（EU）離脱派が勢いを増していることが示され、混乱への警戒が高まったことを受けて大きく下落しました。

中盤以降は、イギリスの世論調査で残留派が勢いを盛り返していることが示されたことを受けて、落ち着きを取り戻して反発に転じる局面もあったものの、終盤に開催されたイギリスの国民投票では、欧州連合（EU）からの離脱が予想外の賛成多数となり、混乱が広がると共に欧州経済の減速への警戒が高まって大きく下落しました。その後はイギリスと他の欧州連合（EU）諸国の間で何らかの妥協が成立するとの期待が高まったことやイギリスで金融緩和期待が高まったことを背景に、落ち着きを取り戻して反発に転じました。

6 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
独 DAX 指数（ユーロ）	9680.09	-5.68%
仏 CAC 指数（ユーロ）	4237.48	-5.95%
英 FT100 指数（英ポンド）	6504.33	+4.39%
スイス SMI 指数（スイスフラン）	8020.15	-2.39%
MSCI Europe 指数（ユーロ）	111.62	-4.48%

イギリスの国民投票で、欧州連合（EU）からの離脱が賛成多数となったことを受けて、統合による活性化を目指してきた欧州経済は試練にさらされていますが、イギリスと他の欧州連合（EU）諸国は経済的に関係が深いことから、経済への影響を軽減するための妥協が成立する可能性もあります。

6 月度の市場動向について

日本株式

国内の株式市場は、下落しました。

序盤、安倍首相が消費増税の延期を正式に表明したものの、経済対策への踏み込んだ言及がなかったことから失望が広がって、株式市場は下落し、その後は米国の雇用統計が弱い結果となったことを受けてドルが下落し、対ドルで円高となったことから、軟調な展開が継続しました。

中盤にかけては、1-3 月期の GDP が上方修正され、景気の先行きに対する懸念が後退するなかで、原油価格が上昇したことを背景にリスク選好が強まり、反発に転じる局面もありましたが、その後はイギリスの欧州連合（EU）離脱懸念が高まったことを受けて混乱への警戒が強まり、反落に転じました。

中盤には、米国の利上げ観測が一段と後退するなかで、日本銀行が金融政策決定会合で金融政策の現状維持を決定したことをきっかけに為替市場で円高が進行すると共に、大きく下落する局面もありましたが、その後はイギリスの欧州連合（EU）離脱懸念が後退したことを受けて反発に転じました。

終盤に開催されたイギリスの国民投票では、欧州連合（EU）からの離脱が予想外に賛成多数となったことを受けて、混乱への警戒が高まると共に、為替市場で大幅な円高となり、株式市場は大きく下落しましたが、その後は落ち着きを取り戻して、為替市場でやや円安となったこともあり、反発に転じました。

6 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
日経平均株価指数（円）	15575.92	-9.63%
TOPIX[東証株価指数]	1245.82	-9.71%
MSCI Japan 指数（円）	748.25	-9.90%

1-3 月期の GDP（2 次速報）では設備投資が上方修正され、景気の先行きに対する懸念が後退したものの、円高や海外経済の減速を受けて企業の投資に対する姿勢が慎重になっている兆候が見られ、イギリスの欧州連合（EU）離脱が決定的となったこともあり、依然として不透明感の高い状況が続いています。

太平洋株式（日本を除く）

太平洋地域（日本を除く）では、オーストラリアの株式市場が下落したものの、ドルが下落したこともあり、ドル建ての指数は上昇しました。

序盤に発表されたオーストラリアの 1-3 月期の GDP が堅調な輸出と家計支出に支えられて予想以上の伸びとなったことを受けて、オーストラリア経済の堅調さが確認されたものの、利下げ観測が後退したことから、やや軟調な展開となりましたが、その後は米国の雇用統計が弱い結果となり利上げ観測が後退したことや資源価格が上昇基調となったことを受けて反発に転じました。

中盤にかけては、イギリスの欧州連合（EU）からの離脱懸念が高まり混乱への警戒が高まったほか、中国で民間投資の伸び率の低迷が確認されたことを受けて資源需要の低下が懸念されたこともあり、下落基調となりましたが、中盤以降には米連邦公開市場委員会（FOMC）で予想通り利上げが見送られると共に、参加者の政策金利の見通しが下方修正されたことが確認され、利上げ観測が後退したほか、イギリスの欧州連合（EU）からの離脱懸念が後退して安心感が広がり上昇しました。

終盤には、イギリスの国民投票で、欧州連合（EU）からの離脱が予想外の賛成多数となったことを受けて、混乱への警戒が強まり、大きく下落しましたが、同時に米国の利上げ観測が一段と後退したこともあり、その後は落ち着きを取り戻して反発に転じました。

6 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
MSCI Pacific ex-Japan 指数（米ドル）	1135.08	+0.59%
S&P/ASX200 指数（豪ドル）	5233.380	-2.70%
香港ハンセン指数（香港ドル）	20794.37	-0.10%
シンガポール ST 指数（シンガポールドル）	2840.93	+1.79%

オーストラリアの 1-3 月期の GDP は、資源需要の低迷が続いていることを背景に投資が減少したものの、輸出と家計消費が堅調な伸びを示して、予想を上回る伸びとなり、引き続き底堅さを維持しています。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

6 月度の市場動向について

新興国株式

新興国の株式市場は、下落する国もありましたが、総じて堅調な展開となりました。

中国で製造業の景況感指数がほぼ予想通りの結果となるなど、新興国の製造業の景況感は引き続き力強さを欠いているものの、インドでは 1-3 月期の GDP が予想を超える伸びとなったほか、ブラジルの 1-3 月期 GDP も予想よりも小さな落ち込みに留まるなど先行きへの明るい兆しも見える中で、新興国の株式市場は総じて堅調な展開となり、その後は米国の雇用統計が弱い結果となり、米国の利上げ観測が後退したことを受けて一段と上昇しました。

中盤にかけては、原油価格が上昇するなかでリスク選好が強まったこともあり、一段と上昇する局面もありましたが、その後はイギリスの欧州連合 (EU) からの離脱観測が高まったことや中国で民間投資の落ち込みが確認されたことを受けて反落に転じました。中盤以降は、米連邦公開市場委員会 (FOMC) で予想通り利上げが見送られると共に、参加者の政策金利の見通しが下方修正され、米国の利上げ観測が一段と後退するなかで、イギリスの欧州連合 (EU) からの離脱観測が後退したことから、上昇基調となりました。

終盤には、イギリスの国民投票で、欧州連合 (EU) からの離脱が予想外の賛成多数となったことを受けて混乱への警戒が強まり、反落に転じましたが、同時に米国の利上げ観測が一段と後退したこともあり、その後は落ち着きを取り戻して反発に転じました。

6 月度の主要指数の概況

	終値	月間騰落率
MSCI Emerging 指数 (米ドル)	834.10	+3.30%
ブラジルボベスパ指数 (ブラジルレアル)	51526.93	+6.30%
中国上海指数 (中国元)	2929.606	+0.45%
韓国総合株価指数 (韓国ウォン)	1970.35	-0.66%
台湾加権指数 (台湾ドル)	8666.58	+1.53%
ロシア RTS 指数 (米ドル)	930.77	+2.92%
S&P/BSE SENSEX 指数 (インドルピー)	26999.72	+1.24%
南アフリカ全株指数 (南アフリカランド)	52217.72	-3.13%

中国の固定資産投資の伸びは徐々に縮小し、2016 年の 5 月までの年初来累計の伸びは 2000 年以来初めて 10% を下回りました。特に、民間投資は +3.9% と低い伸びに留まっており、中国経済の自律的な成長への懸念が高まっています。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書 (交付目論見書) の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

世界の債券市場についての概況

国債市場は、序盤に米国の雇用統計が弱い結果となり、利上げ観測が後退したことをきっかけに上昇基調となり、中盤までイギリスの欧州連合（EU）からの離脱懸念が高まったことを受けて、安全資産としての需要が強まって上昇基調が続きまし。中盤以降はイギリスの欧州連合（EU）からの離脱懸念が後退したことを受けて下落基調となりましたが、終盤に行われたイギリスの国民投票で予想外に離脱が賛成多数となり、混乱への警戒が強まったことや金融緩和の長期化観測が高まったことを受けて大きく上昇しました。

米国債券市場（国債）

米国の国債市場は、上昇しました。

序盤、雇用統計で非農業部門の雇用者数の伸びが予想を大幅に下回ったことを受けて、6月に利上げが行われるとの見方が後退して上昇し、その後もイギリスの欧州連合（EU）からの離脱懸念が高まったことから安全資産としての需要が高まって上昇基調となりました。

中盤に開催された米連邦公開市場委員会（FOMC）では予想通り利上げが見送られたほか、参加者の政策金利の見通しが下方修正されたことを受けて、米国の利上げ観測が一段と後退したことから上昇が継続し、中盤以降は、イギリスの欧州連合（EU）からの離脱懸念が後退して反落に転じたものの、終盤に行われたイギリスの国民投票で予想外に離脱が賛成多数となったことを受けて、混乱への警戒が高まると共に、利上げ観測が一段と後退して大きく上昇しました。

6 月度の長期金利の状況

	利回り	前月比
米 10 年国債	1.470%付近	-0.376%

欧州債券市場（国債）

ユーロ圏では、主要国と周縁国の国債が共に上昇しました。

前半、米国で利上げ観測が後退し、米国債が上昇したこともあってユーロ圏の国債は上昇基調となったものの、中盤にかけてはイギリスの欧州連合（EU）からの離脱懸念が高まったことを受けてリスクを避ける動きが強まり、ドイツなどの主要国の国債が上昇する一方でイタリアなど周縁国の国債が下落しました。中盤以降はイギリスの欧州連合（EU）からの離脱懸念が後退したことを受けて、主要国の国債が下落し周縁国の国債が上昇する局面もあったものの、終盤に行われたイギリスの国民投票で欧州連合（EU）からの離脱が予想外に賛成多数となったことを受けて、安全資産としての需要が高まって主要国の国債が大きく上昇し、その後は混乱への警戒が弱まり周縁国の国債も上昇しました。

6 月度の長期金利の状況

	利回り	前月比
独 10 年国債	-0.130%付近	-0.269%

日本債券市場（国債）

日本の国債市場は上昇しました。

序盤から米国で利上げ観測が後退して世界的に国債が上昇するなかで上昇基調となり、その後は三菱東京 UFJ 銀行が国債市場特別参加者資格を返上すると報じられたことを受けて、国債の安定消化に対する懸念が拡がって軟調な展開となる局面もあったものの、中盤まで上昇基調が続きまし。中盤以降はイギリスの欧州連合（EU）からの離脱懸念が後退して反落に転じる局面もあったものの、終盤に行われたイギリスの国民投票で欧州連合（EU）からの離脱が予想外に賛成多数となったことを受けて、安全資産としての需要が高まって上昇しました。

6 月度の長期金利の状況

	利回り	前月比
日 10 年国債	-0.217%付近	-0.112%

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

6 月度の市場動向について

世界の為替市場についての概況

米国の雇用統計で非農業部門の雇用者数の伸びが予想を大きく下回ったことや米連邦公開市場委員会（FOMC）参加者の政策金利予想が3月時点のものから下方修正されたこと、さらにはイギリスの欧州連合（EU）離脱により、景気の先行きへの不透明感が高まったことを受けて利上げ観測が大きく後退したことからドルは下落基調となりました。

また、終盤に行われたイギリスの国民投票で欧州連合（EU）からの離脱が予想外に賛成多数となったことを受けて、イギリス経済の先行きへの懸念が大きく高まって英ポンドが大きく下落したほか、欧州全体でも景気減速への懸念が強まってユーロも下落しました。

円は、三菱東京 UFJ 銀行が国債市場特別参加者（プライマリーディーラー）資格を返上すると報じられたことを受けて国債の安定消化に対する懸念が広がったことなどを背景に日本銀行の金融緩和の手詰まり感が意識されたこともあって中盤まで上昇基調となり、終盤にはイギリスの国民投票で欧州連合（EU）からの離脱が予想外に賛成多数となったことを受けて、リスクを回避する動きが強まるなかで、円への資金回帰の動きが強まるとの思惑が高まったことなどを背景に大きく上昇し、対ドル、対ユーロで大幅な円高となりました。

ドル・円

円はドルに対して、大きく上昇しました。

序盤、日本で安倍首相が消費増税の延期を正式に表明したことを背景に、金融緩和期待が後退して円が上昇した一方で、米国の雇用統計が弱い結果となったことを受けてドルが下落したことから、対ドルで円高となりました。

中盤にかけては、イギリスの欧州連合（EU）離脱への警戒が強まるなかで、日本銀行の金融緩和の手詰まり感が意識されたこともあって円の堅調な展開が続き、その後は日本銀行が金融政策決定会合で追加緩和を見送る一方で、米連邦公開市場委員会（FOMC）を経て、米国の利上げ観測が後退したことを受けて、円高が一段と進行しました。

終盤にかけては、イギリスの欧州連合（EU）離脱への懸念が後退するなかで、やや円安基調となる局面もあったものの、終盤に開催されたイギリスの国民投票で予想外に離脱が賛成多数となったことを受けて、リスク回避の動きが一気に強まると同時に、米国の利上げ観測が一段と後退して、円は対ドルで大きく上昇しました。

ユーロ・円

円はユーロに対して、大きく上昇しました。

序盤、日本で安倍首相が消費増税の延期を正式に表明したことを背景に、金融緩和期待が後退し、円は対ユーロでも上昇しました。

中盤にかけては、イギリスの欧州連合（EU）離脱への警戒が強まったことを受けて欧州経済の先行きに対する懸念が高まりユーロが軟調な展開となる一方で、日本銀行の金融緩和の手詰まり感が意識されたこともあって円の堅調な展開が続き、その後は日本銀行が金融政策決定会合で追加緩和を見送ったことを受けて、円高が一段と進行しました。

終盤にかけては、イギリスの欧州連合（EU）離脱への懸念が後退したことを受けてユーロが反発に転じて円安基調となる局面もあったものの、終盤に開催されたイギリスの国民投票で予想外に離脱が賛成多数となったことを受けて、欧州経済の先行きに対する不透明感が一気に高まると同時に、リスク回避の動きが強まり円は対ユーロで大きく上昇しました。

6 月度の概況

	レート*	月間騰落率
円／ドル	103.19	-6.80%（円高）
円／ユーロ	114.61	-7.01%（円高）
ユーロ／ドル	1.1108	-0.20%（ユーロ安）

*レートは月末の米国東部標準時間 17 時のものです。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド 6 月度運用レポート

販売用資料
2016.7.5

「セゾン資産形成の達人ファンド」
運用概況（2016年6月30日現在）

今月のマーケット

株式：【イギリスの欧州連合（EU）からの離脱が決定的な状況となったことを受けて先行きへの不透明感が拡がり下落】

終盤にイギリスで行われた欧州連合（EU）からの離脱の賛否を問う国民投票で離脱が賛成多数となったことを受けて先行きへの不透明感が高まり、大きく下落しましたが、その後は金融緩和観測が拡がったこともあり、次第に落ち着きを取り戻して反発しました。

為替：【欧州経済の先行きへの警戒が高まった他、米国の利上げ観測が後退したことを背景に対ユーロ、対ドルで大幅な円高】

イギリスの欧州連合（EU）離脱が決定的となったことを受けて英ポンドやユーロが下落したほか、利上げ観測が後退したドルも下落しました。円は金融緩和の拡大観測が後退するなかでリスク回避の動きが強まったことを受けて、大きく上昇しました。

今月の投資スタンス

今月は、定期積立プランでのご購入などにより、皆さまからお預かりした資金を利用して、コムジェストヨーロッパファンド、バンガード米国オポチュニティファンド、T.ロウ・プライス米国大型グロースファンド、コムジェストエマージングマーケットファンド、アライアンス・バーンスタイン米国株式集中投資ファンド、スパークス・ワンアジア・厳選投資ファンド、コムジェスト日本株式ファンドへの投資を行いました。なお、現金比率は前月と変わらず、月末時点で1.3%となっております。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

ファンドマネジャーからの一言

終盤に行われた国民投票の結果、イギリスの欧州連合（EU）離脱が決定的な状況となったことで、グローバル化の進展による経済成長を期待してきた投資家の間には失望が拡がり、直前まで残留が選択されるとの見方が優勢であったこともあって、開票当日の金融市場は大きな混乱に見舞われました。その後は金融緩和観測が高まったことや経済への影響を抑える為の取り組みが進展するとの期待が高まったことを背景に、株式市場は落ち着きを取り戻しましたが、為替市場ではドルやユーロが下落する一方で円が大きく上昇したことから、当ファンドの基準価額は大きく下落しました。

投資を続けていく上では、予想もしなかったような良い知らせや悪い知らせに遭遇することがありますが、どのような状況においても、過度に楽観的になったり、悲観的になったりすることなく、様々な可能性があることを念頭に置きながら、長期的な視点を持ち、変わらない姿勢で投資を継続することが重要であると考えております。

当ファンドでは引き続き、地域的な分散を意識して資産配分を行うと共に、投資先ファンドを通じて、安全性や長期的な収益力を基準に銘柄の選別を行い、短期的な市場の動向ではなく投資対象の価値を重視して株式投資を継続することで、リスクを抑えながら皆様の長期的な資産形成のお役に立てるように努めて参ります。

運用部 瀬下 哲雄

セゾン資産形成の達人ファンド
6 月度運用レポート

I：ファンドの基準価額と純資産総額の推移

2016年6月30日現在の基準価額と純資産総額及び騰落率

基準価額	13,796円
純資産総額	290.0億円

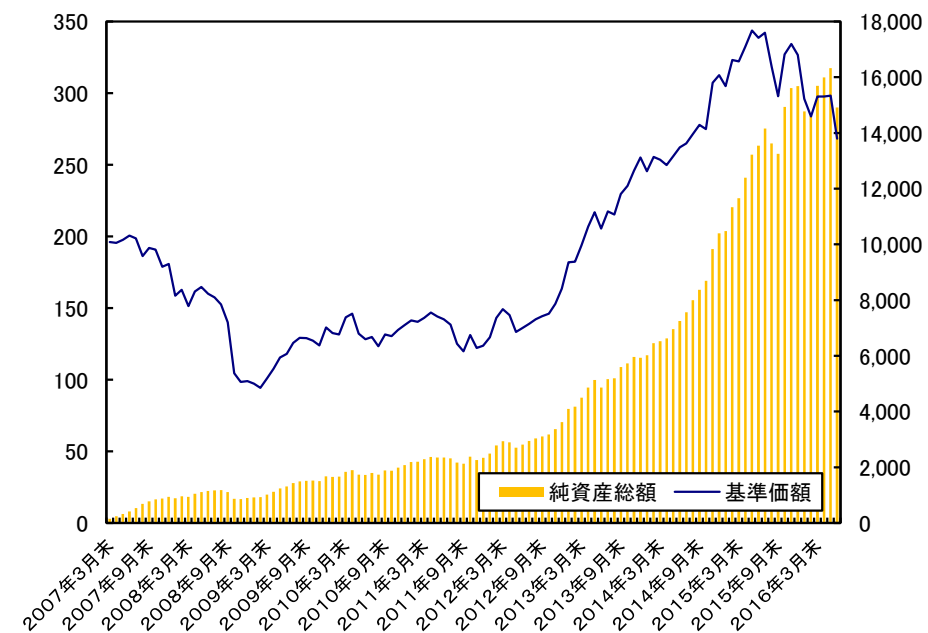
設定来騰落率	37.96%
過去1ヶ月間の騰落率	-10.08%
過去6ヶ月間の騰落率	-17.89%
過去1年間の騰落率	-20.77%
過去3年間の騰落率	30.52%

*基準価額は信託報酬控除後の数値です。騰落率は小数点第3位を四捨五入しています。

基準価額のハイライト（設定から2016年6月30日まで）

	基準価額	日付
設定来安値	4,601	2009年3月11日
設定来高値	17,933	2015年7月21日

純資産総額(億円) 基準価額と純資産総額の推移(設定来/月次) 基準価額(円)



当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド 6 月度運用レポート

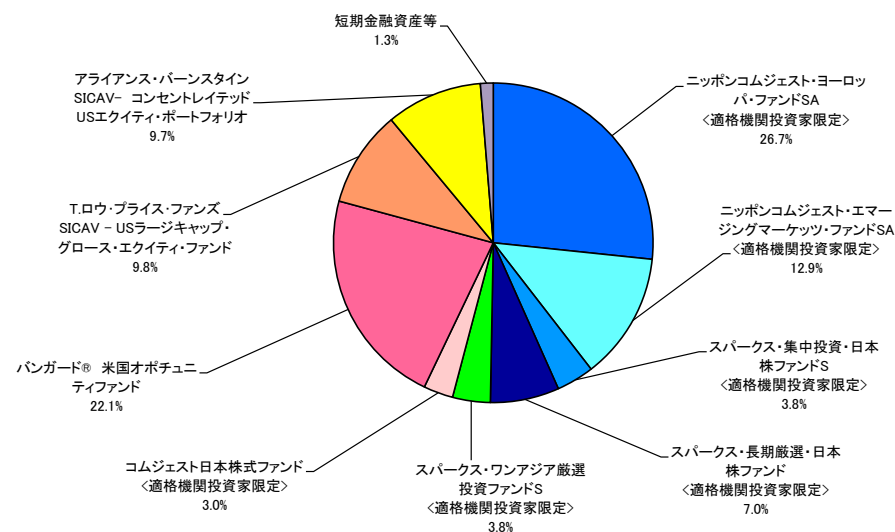
販売用資料
2016.7.5

Ⅱ：ファンド資産の状況（2016年6月30日現在）

投資先ファンド別資産配分状況

ファンド名称	比率
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA 〈適格機関投資家限定〉	26.7%
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA 〈適格機関投資家限定〉	12.9%
スパークス・集中投資・日本株ファンドS 〈適格機関投資家限定〉	3.8%
スパークス・長期厳選・日本株ファンド 〈適格機関投資家限定〉	7.0%
スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS 〈適格機関投資家限定〉	3.8%
コムジェスト日本株式ファンド 〈適格機関投資家限定〉	3.0%
バンガード® 米国オポチュニティファンド	22.1%
T.ロウ・ブライス・ファンズSICAV - USラージキャップ・グロース・エクイティ・ファンド	9.8%
アライアンス・バーンスタインSICAV - コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ	9.7%
短期金融資産等	1.3%
合計	100.0%

資産配分状況(2016年6月30日現在)



※資産配分状況は小数点第2位を四捨五入している為、合計が100%にならない場合があります。

参考：上記投資比率の場合、当ファンドの信託報酬率（税込0.5832%/年）を加えた、受益者が負担する実質的な信託報酬率は約1.49%です。

（実質的な信託報酬率は、投資状況により変化します。）

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド
6 月度運用レポート

参考：国別投資比率、業種別投資比率（2016年5月31日現在）

国別投資比率

※集計の都合により、1ヶ月遅れの情報を掲載しています。

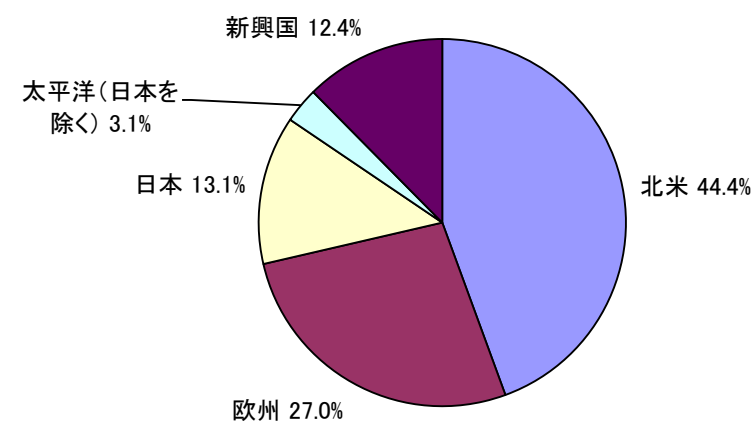
国名	セゾン資産形成の 達人ファンドの 投資比率	MSCI All Country Indexの時価総額 に基づく比率	差異
アメリカ	44.4%	53.5%	-9.1%
日本	13.1%	7.7%	5.4%
フランス	7.8%	3.3%	4.5%
スイス	3.7%	3.1%	0.7%
スペイン	3.7%	1.1%	2.6%
デンマーク	3.6%	0.7%	2.9%
中国	3.3%	2.4%	0.9%
ドイツ	2.8%	3.0%	-0.2%
イギリス	2.5%	6.5%	-4.1%
香港	2.3%	1.1%	1.2%
インド	1.9%	0.8%	1.0%
ブラジル	1.6%	0.6%	1.0%
南アフリカ	1.3%	0.7%	0.6%
台湾	1.3%	1.2%	0.0%
韓国	1.0%	1.5%	-0.5%
オランダ	1.0%	1.0%	-0.1%
スウェーデン	0.8%	0.9%	-0.1%
メキシコ	0.7%	0.4%	0.2%
イタリア	0.6%	0.7%	-0.1%
オーストラリア	0.6%	2.4%	-1.8%
アイルランド	0.5%	0.2%	0.4%
ロシア	0.5%	0.4%	0.1%
マレーシア	0.4%	0.3%	0.1%
シンガポール	0.3%	0.4%	-0.2%
チリ	0.2%	0.1%	0.0%
フィリピン	0.1%	0.1%	0.0%
タイ	0.1%	0.2%	-0.1%
インドネシア	0.1%	0.3%	-0.2%

*セゾン資産形成の達人ファンドの投資比率は短期金融資産や債券等を除いた株式部分に対する投資比率です。

また、各計算過程で四捨五入等の処理を行っておりますので、合計が100%とならない場合があります。

*セゾン資産形成の達人ファンドの投資対象の国は、セゾン投信株式会社の判断に基づいて分類しています。

セゾン資産形成達人ファンドの地域別投資比率



*セゾン資産形成の達人ファンドの投資比率は短期金融資産や債券等を除いた株式部分に対する投資比率です。また、各計算過程で四捨五入等の処理を行っておりますので、合計が100%とならない場合があります。

*セゾン資産形成の達人ファンドの投資対象の地域は、MSCI の分類を基にセゾン投信株式会社の判断に基づいて分類しています。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド 6 月度運用レポート

販売用資料
2016.7.5

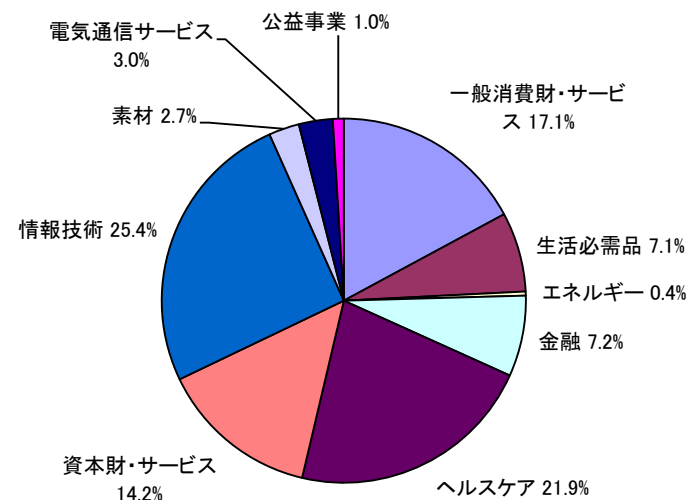
業種別投資比率

※集計の都合により、1ヶ月遅れの情報を掲載しています。

業種	セゾン資産形成の 達人ファンドの 投資比率	MSCI All Country Indexの時価総額 に基づく比率	差異
一般消費財・サービス	17.1%	12.6%	4.6%
生活必需品	7.1%	10.5%	-3.5%
エネルギー	0.4%	6.7%	-6.4%
金融	7.2%	20.7%	-13.5%
ヘルスケア	21.9%	12.1%	9.8%
資本財・サービス	14.2%	10.5%	3.7%
情報技術	25.4%	14.8%	10.6%
素材	2.7%	4.8%	-2.1%
電気通信サービス	3.0%	3.9%	-0.9%
公益事業	1.0%	3.4%	-2.4%

*セゾン資産形成の達人ファンドの投資比率は短期金融資産や債券等を除いた株式部分に対する投資比率です。
また、各計算過程で四捨五入等の処理を行っておりますので、合計が100%とならない場合があります。

セゾン資産形成の達人ファンドの業種別投資比率



*セゾン資産形成の達人ファンドの投資比率は短期金融資産や債券等を除いた株式部分に対する投資比率です。また、各計算過程で四捨五入等の処理を行っておりますので、合計が100%とならない場合があります。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド 6 月度運用レポート

販売用資料
2016.7.5

Ⅲ：為替レートの推移

2007年8月15日から2016年6月30日までの為替レートの推移

外貨建てファンドの組み入れ開始時（2007年8月15日）からの為替レート

日付	円／ドル
2007年8月15日	117.44
2007年12月28日	114.15
2008年12月30日	91.03
2009年12月30日	92.10
2010年12月30日	81.49
2011年12月30日	77.74
2012年12月28日	86.58
2013年12月30日	105.39
2014年12月30日	120.55
2015年12月30日	120.61
2016年1月29日	120.87
2016年2月29日	113.62
2016年3月31日	112.68
2016年4月28日	109.75
2016年5月31日	110.94
2016年6月30日	102.91
変化率（組入来）	-12.37%
変化率（6月度）	-7.24%



円／ドル

※投資信託協会発表の評価用為替レートを使用して作成しています。

当ファンドは、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

※変化率はプラスが円安、マイナスが円高。小数点第3位を四捨五入

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

IV：投資先ファンドの価格（円貨建て）

ファンドへの組入れ開始日の値を 100 とした場合の 2016 年 6 月 30 日現在の値

ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA <適格機関投資家限定>	155.9
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA <適格機関投資家限定>	124.0
スパークス・集中投資・日本株ファンドS <適格機関投資家限定>	262.9
スパークス・長期厳選・日本株ファンド <適格機関投資家限定>	289.7
スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS <適格機関投資家限定>	78.8
コムジェスト日本株式ファンド <適格機関投資家限定>	98.6
バンガード 米国オポチュニティファンド	196.4
T.ロウ・プライス・ファンズSICAV - USラージキャップ・グロース・エクイティ・ファンド	211.5
アライアンス・バーンスタインSICAV - コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ	80.8

2016 年 5 月 31 日の値を 100 とした場合の 2016 年 6 月 30 日現在の値（6 月の動き）

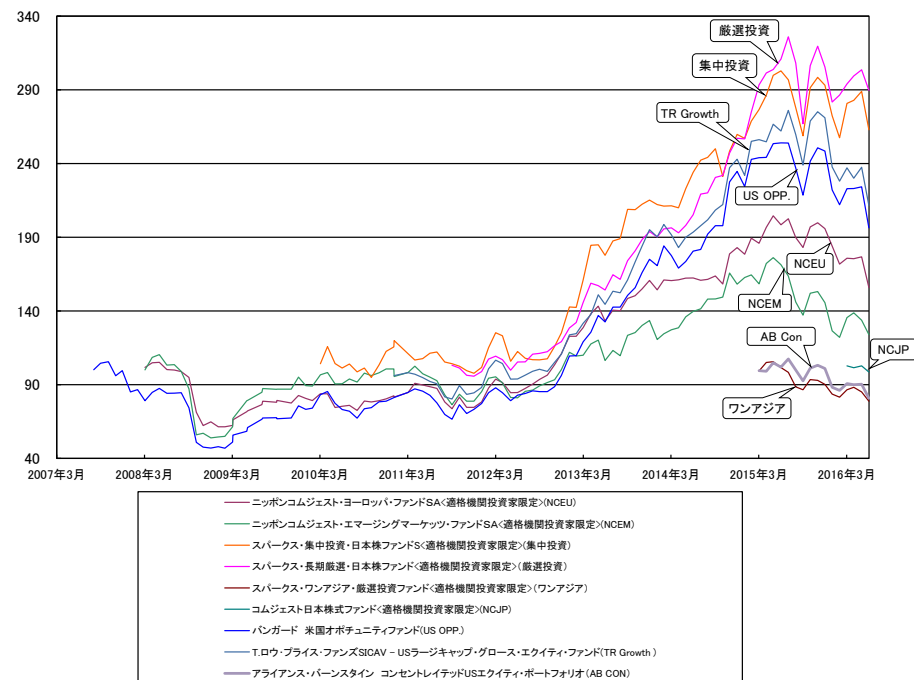
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA <適格機関投資家限定>	88.2
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA <適格機関投資家限定>	92.7
スパークス・集中投資・日本株ファンドS <適格機関投資家限定>	91.0
スパークス・長期厳選・日本株ファンド <適格機関投資家限定>	95.4
スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS <適格機関投資家限定>	92.5
コムジェスト日本株式ファンド <適格機関投資家限定>	95.9
バンガード 米国オポチュニティファンド	87.6
T.ロウ・プライス・ファンズSICAV - USラージキャップ・グロース・エクイティ・ファンド	89.1
アライアンス・バーンスタインSICAV - コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ	89.5

※指数は小数点以下第2位を四捨五入しています。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

組入れ開始以来の投資先ファンドの値の推移（円貨建て）



※バンガード 米国オポチュニティファンドは2007年8月15日、ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA<適格機関投資家限定>は2008年3月12日、ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA<適格機関投資家限定>は2008年3月31日、スパークス・集中投資・日本株ファンドS<適格機関投資家限定>は2010年3月19日、T.ロウ・プライス・ファンズSICAV・USラージキャップ・グロース・エクイティ・ファンドは2011年3月15日、スパークス・長期厳選・日本株ファンド<適格機関投資家限定>は2011年9月13日、アライアンス・バーンスタインSICAV・コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ（クラスI）は2015年3月23日、スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS<適格機関投資家限定>は2015年3月24日、コムジェスト日本株式ファンドは2016年3月14日の値を100として算出しています。価格が外貨建てのファンドは、投資信託協会発表の評価用為替レートを利用して円に換算し、指数を算出しています。（日付は全て当ファンドでの評価日付です）

セゾン資産形成の達人ファンド
6 月度運用レポート

投資先アクティブ運用ファンドの状況

各比率は、特に指定がない場合、純資産総額に対する比率を表します。また、小数点第2位または第3位を四捨五入している為、合計が100%にならない場合があります。

スパークス・長期厳選・日本株ファンド<適格機関投資家限定>

6 月度の騰落率は、日経平均株価の-9.6%、東証株価指数（TOPIX）の-9.7%に
対し、スパークス・長期厳選・日本株ファンドは-6.2%でした。5 月末時点の当フ
ァンドにおける資産構成比率、業種別構成比率(上位 5 業種)、上位 10 銘柄は下記
の通りです。また、当ファンドの組入銘柄数は 14 銘柄となっています。

資産構成比率

国内株式	94.4%
現金・その他	5.6%

業種別構成比率(上位 5 業種(東証 33 分類))

	東証33業種	比率(%)
1	電気機器	17.23%
2	化学	13.97%
3	その他製品	13.08%
4	卸売業	12.91%
5	精密機器	9.68%

組入上位 10 銘柄※銘柄コード順

銘柄名	業種
花王	化学
テルモ	精密機器
日本電産	電気機器
キーエンス	電気機器
シマノ	輸送用機器
良品計画	小売業
アシックス	その他製品
ユニ・チャーム	化学
ミスミグループ本社	卸売業
ソフトバンクグループ	情報・通信業

スパークス・集中投資・日本株ファンド S<適格機関投資家限定>

6 月度の騰落率は-9.4%でした。5 月末時点の当ファンドのマザーファンドにおけ
る資産構成比率、業種別構成比率(上位 5 業種)、上位 10 銘柄は下記の通りです。
また、5 月末時点の当ファンドのマザーファンド組入比率は 100.1%、マザーフ
ァンドの組入銘柄数は 32 銘柄となっています。

(当ファンドは、マザーファンド【スパークス集中投資戦略マザーファンド】を通じて投資を行うフ
ァミリーファンド方式で運用しています。)

マザーファンドの状況

資産構成比率

国内株式	93.8%
現金・その他	6.2%

業種別構成比率(上位 5 業種(東証 33 分類))

	東証33業種	比率(%)
1	不動産業	15.92%
2	化学	15.57%
3	機械	9.69%
4	食料品	8.65%
5	卸売業	7.13%

組入上位 10 銘柄 (マザーファンドの組入れ状況) ※銘柄コード順

銘柄名	業種
東洋建設	建設業
ビックカメラ	小売業
オープンハウス	不動産業
シップヘルスケアホールディングス	卸売業
レンゴー	パルプ・紙
三浦工業	機械
TPR	機械
エフピコ	化学
ジャックス	その他金融業
トーセイ	不動産業

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド
6 月度運用レポート

コムジェスト日本株式ファンド<適格機関投資家限定>

6 月度の騰落率は、日経平均株価の-9.6%、東証株価指数 (TOPIX) の-9.7%に
対しコムジェスト日本株式ファンドは-4.7%でした。6 月末時点の資産構成比率
及び組入上位 10 銘柄と組入比率は下記の通りです。また、当ファンドのマザー
ファンド組入比率は 100.0%、マザーファンドの組入銘柄数は 37 銘柄となっており
ます。

(当ファンドは、マザーファンド【コムジェスト日本株式マザーファンド】を通じて投資を行うファミ
リリーファンド方式で運用しています。)

マザーファンドの状況

資産構成比率

国内株式等	93.5%
短期金融資産など	6.5%

組入上位 10 銘柄と組入比率 (マザーファンドの組入れ状況)

銘柄	業種	国	比率
1 エムスリー	ヘルスケア	日本	4.8%
2 ポーラ・オルビスホールディングス	生活必需品	日本	4.3%
3 キーエンス	情報技術	日本	4.0%
4 ホシザキ電機	資本財・サービス	日本	3.6%
5 シスメックス	ヘルスケア	日本	3.5%
6 日本M&Aセンター	金融	日本	3.1%
7 光通信	一般消費財・サービス	日本	3.1%
8 Monotaro	資本財・サービス	日本	3.0%
9 シマノ	一般消費財・サービス	日本	2.9%
10 スタートトゥデイ	一般消費財・サービス	日本	2.9%

スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS<適格機関投資家限定>

6 月度の騰落率は、MSCI アジア太平洋 (日本を除く) インデックス (円建て換算) *
の-7.1%に対し、スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドSは-6.1%でした。5 月末
時点の当ファンドのマザーファンドにおける資産構成比率、組入上位 10 銘柄は下記
の通りです。また、5 月末時点の当ファンドのマザーファンド組入比率は 100.0%、
マザーファンドの組入銘柄数は 47 銘柄となっています。

(当ファンドは、マザーファンド【スパークス・ワンアジア厳選投資マザーファンド】を通じて投資を行うファミ
リリーファンド方式で運用しています。)

マザーファンドの状況

資産構成比率

外国株式	92.9%
現金・その他	7.1%

国別株式投資比率と業種別投資比率

国名	比率(%)	業種	比率(%)
1 香港	29.87%	1 資本財・サービス	16.78%
2 オーストラリア	15.74%	2 金融	16.18%
3 台湾	10.91%	3 一般消費財・サービス	13.16%
4 韓国	9.81%	4 情報技術	12.37%
5 中国	9.00%	5 公益事業	11.44%
6 シンガポール	6.14%	6 電気通信サービス	11.40%
7 フィリピン	4.35%	7 生活必需品	7.35%
8 タイ	2.27%	8 ヘルスケア	2.49%
9 インドネシア	1.98%	9 素材	1.72%
10 マレーシア	1.61%		
11 アメリカ合衆国	1.22%		

組入上位 10 銘柄 (マザーファンドの組入れ状況) ※アルファベット順

銘柄名	業種
AIA GROUP LTD	金融
CHINA STATE CONSTR	資本財・サービス
GUANGDONG INVEST	公益事業
KANGWON LAND INC	一般消費財・サービス
POWER ASSETS HLDGS	公益事業
TAIWAN SEMICON MAN	情報技術
TELSTRA CORP LTD	電気通信サービス
TENCENT HLDGS LTD	情報技術
TRANSURBAN GROUP	資本財・サービス
ZHEJIANG EXPRESS	資本財・サービス

*MSCI アジア太平洋 (日本を除く) インデックス (円建て換算) の騰落率は、MSC アジア太平洋 (日本を除く) イ
ンデックス (ドル建て) を投信協会発表の評価用為替レートを利用して円に換算して算出してあります。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン
投信が提供する投資信託説明書 (交付目論見書) の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証
するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮してありません。
投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド 6 月度運用レポート

バンガード 米国オポチュニティファンド
(インスティテューショナルシェア・クラス)

6 月度の騰落率（ドルベース）はラッセル 3000 種指数の+0.0%に対し、米国オポチュニティファンドは-2.2%でした。3 月末時点の組入上位 10 銘柄と組入比率、および 5 月末時点の業種別投資比率は下記の通りです。また、5 月末時点の組入銘柄数は 188 銘柄となっています。

組入上位 10 銘柄と投資比率（2016 年 3 月末現在／四半期ごとに更新）

銘柄	業種	組入比率
1 ABIOMED Inc.	ヘルスケア	4.8%
2 Eli Lilly & Co.	ヘルスケア	3.5%
3 Southwest Airlines Co.	資本財・サービス	2.9%
4 Delta Air Lines Inc.	資本財・サービス	2.5%
5 Alphabet Inc.	情報技術	2.4%
6 Seattle Genetics Inc.	ヘルスケア	2.3%
7 Charles Schwab Corp.	金融	1.8%
8 FedEx Corp.	資本財・サービス	1.7%
9 Amgen Inc.	ヘルスケア	1.7%
10 Biogen Inc.	ヘルスケア	1.6%

業種別投資比率（普通株式への投資に対する割合）

業種	組入比率
1 情報技術	30.6%
2 ヘルスケア	29.1%
3 資本財・サービス	16.6%
4 一般消費財・サービス	13.5%
5 金融	6.4%
6 生活必需品	1.2%
7 素材	1.2%
8 電気通信サービス	0.7%
9 エネルギー	0.6%
10 公益事業	0.0%

T. ロウ・プライス・ファンズ SICAV-US ラージキャップ・グロース・エクイティ・ファンド (インスティテューショナル・Iクラス)

6 月度の騰落率（ドルベース）はベンチマークであるラッセル 1000 グロース指数の-0.5%に対し、US ラージキャップ・グロース・エクイティファンドは-3.5%でした。5 月末時点の組入上位 10 銘柄、および業種別投資比率は下記の通りです。また、組入銘柄数は 64 銘柄となっています。

組入上位 10 銘柄／アルファベット順（上位 10 銘柄の合計：42.9%）

銘柄	業種
Alexion Pharmaceuticals	ヘルスケア
Alphabet	情報技術
Amazon.com	一般消費財・サービス
Boeing	資本財・サービス
Bristol-Myers Squibb	ヘルスケア
Danaher	資本財・サービス
Facebook	情報技術
Microsoft	情報技術
Priceline	一般消費財・サービス
Visa	情報技術

業種別投資比率

業種	組入比率
情報技術	28.0%
一般消費財・サービス	26.3%
ヘルスケア	21.9%
資本財・サービス	13.4%
金融	6.5%
生活必需品	1.5%
素材	1.1%
電気通信サービス	0.8%
エネルギー	0.0%
公益事業	0.0%

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド 6 月度運用レポート

アライアンス・バーンスタイン SICAV コンセントレイテッド US エクイティ・ポートフォリオ (クラス I)

6 月度の騰落率（ドルベース）は S&P500 指数の+0.1%、ラッセル 1000 グロース指数の-0.5%に対し、コンセントレイテッド US エクイティ・ポートフォリオは-2.1%でした。5 月末時点の組入上位 10 銘柄、および業種別投資比率は下記の通りです。また、組入銘柄数は 20 銘柄となっています。

組入上位 10 銘柄／アルファベット順（上位 10 銘柄の合計：59.08%）

	銘柄	業種	組入比率
1	Charles Schwab	金融	7.00%
2	Amphenol	情報技術	6.97%
3	Ecolab	素材	6.78%
4	Quintiles Transnational	ヘルスケア	6.56%
5	Priceline	一般消費財・サービス	6.19%
6	Automatic Data Processing	情報技術	5.78%
7	Abbott Laboratories	ヘルスケア	4.99%
8	Alphabet	情報技術	4.97%
9	Delphi Automotive	一般消費財・サービス	4.93%
10	Celgene	ヘルスケア	4.91%

業種別投資比率

	業種	組入比率
1	情報技術	30.03%
2	一般消費財・サービス	26.42%
3	ヘルスケア	21.27%
4	金融	7.00%
5	素材	6.78%
6	資本財・サービス	4.90%
7	生活必需品	3.60%
8	エネルギー	0.00%
9	電気通信サービス	0.00%
10	公益事業	0.00%

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド 6 月度運用レポート

ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンド SA ＜適格機関投資家限定＞

6 月度の騰落率は MSCI ヨーロッパ・インデックス（円建て換算）*の-13.2%に対し、ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンド SA は-9.4%でした。6 月末時点の資産構成比率及び組入上位 10 銘柄と組入比率は下記の通りです。また、当ファンドのマザーファンド組入比率は 100.0%、マザーファンドの組入銘柄数は 33 銘柄となっております。

（当ファンドは、マザーファンド【ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザーファンド】を通じて投資を行うファミリーファンド方式で運用しています。）

マザーファンドの状況

資産構成比率

外国株式等	96.2%
短期金融資産など	3.8%

組入上位 10 銘柄と組入比率（マザーファンドの組入れ状況）

	銘柄	業種	国	比率
1	INDITEX	一般消費財・サービス	スペイン	7.1%
2	ESSILOR INTERNATIONAL	ヘルスケア	フランス	6.2%
3	AMADEUS IT HOLDINGS SA	情報技術	スペイン	5.6%
4	NOVO NORDISK A/S-B	ヘルスケア	デンマーク	5.4%
5	COLOPLAST -B	ヘルスケア	デンマーク	4.9%
6	DASSAULT SYSTEMES SA	情報技術	フランス	4.7%
7	SARTORIUS STEDIM BIOTECH	ヘルスケア	フランス	4.4%
8	ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN	ヘルスケア	スイス	4.1%
9	ARM HOLDINGS PLC	情報技術	イギリス	3.6%
10	WIRECARD AG	情報技術	ドイツ	3.5%

*MSCI ヨーロッパ・インデックス（円建て換算）の騰落率は、MSCI ヨーロッパ・インデックス（ユーロ建て）を投信協会発表の評価用為替レートを利用して円に換算して算出しております。

ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンド SA ＜適格機関投資家限定＞

6 月度の騰落率は MSCI エマージング・マーケット・インデックス（円建て換算）*の-5.6%に対し、ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンド SA は-4.9%でした。6 月末時点の資産構成比率及び組入上位 10 銘柄と組入比率は下記の通りです。また、当ファンドのマザーファンド組入比率は 100.0%、マザーファンドの組入銘柄数は 39 銘柄となっております。

（当ファンドは、マザーファンド【ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド】を通じて投資を行うファミリーファンド方式で運用しています。）

マザーファンドの状況

資産構成比率

外国株式等	91.7%
短期金融資産など	8.3%

組入上位 10 銘柄と組入比率（マザーファンドの組入れ状況）

	銘柄	業種	国	比率
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	情報技術	台湾	6.5%
2	CHINA MOBILE LTD	電気通信サービス	中国	5.2%
3	NETEASE INC ADR	情報技術	中国	4.6%
4	POWER GRID CORP OF INDIA LTD	公益事業	インド	3.8%
5	CHINA LIFE INSURANCE CO-H	金融	中国	3.7%
6	INFOSYS LTD-SP ADR	情報技術	インド	3.3%
7	PING AN INSURANCE GROUP CO-H	金融	中国	3.0%
8	BHARTI AIRTEL LIMITED	電気通信サービス	インド	2.9%
9	CKH HOLDINGS	資本財・サービス	香港	2.9%
10	SAMSUNG LIFE INSURANCE CO	金融	韓国	2.9%

*MSCI エマージング・マーケット・インデックス（円建て）の騰落率は、MSCI エマージング・マーケット・インデックス（ドル建て）を投信協会発表の評価用為替レートを利用して円に換算して算出しております。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド
6 月度運用レポート

■ファンドの特色

- ・世界への幅広い分散投資
投資対象ファンドを通じて主として世界の株式に幅広く分散投資します。株式市場が過熱により有望な投資機会がないと判断した場合は、一部債券への投資を行うことがあります。
- ・厳選したファンドへの投資
各地域に強みを持つ運用会社を厳選し投資対象ファンドとします。また、投資対象ファンドは全てアクティブファンドとなります。資産配分比率は、各国の株式市場の規模を考慮しつつも投資対象地域を幅広く分散すること、企業が収益を上げる地域もバランスよく分散されることを意識しております。
- ・長期的な視点に立った運用スタイル
価格以上に価値があると考えられる投資対象に選別投資を行い、成果が上がるまで時間をかけて待つ運用スタイルをとり、長期的な資産形成に適したファンドを目指します。

■投資対象ファンドの選定条件

- ・長期的な視点で運用されていること。
- ・手数料が適正なこと。
- ・ファンダメンタル分析に基づいて運用されていること。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド
6 月度運用レポート

■現在の組入れ対象ファンドについて

①バンガード 米国オポチュニティファンド

主要投資対象：主に米国の株式に投資します。

運用方針：平均を上回る潜在的な収益成長力がありながら、その企業価値がまだ市場価格に反映されていない銘柄へ投資することで、ファンド資産の長期的成長を目指します。

②TMA 長期投資ファンド<適格機関投資家限定>

主要投資対象：マザーファンドを通じて国内外の株式及び国内外の債券に投資します。

運用方針：生活者の視点から長期的に必要とされるビジネスを展開する国内外の企業を選別し、長期保有します。

③ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンド S A <適格機関投資家限定>

主要投資対象：マザーファンドを通じて主にヨーロッパ諸国の株式に投資します。

運用方針：高い利益成長率が期待できる企業に集中投資し、長期保有することにより高いリターンを目指します。投資先の企業の短期的な株価の値動きではなく、その企業の中長期的な利益成長に対して投資を行います。

④ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンド S A <適格機関投資家限定>

主要投資対象：マザーファンドを通じて主に新興諸国の株式に投資します。

運用方針：高い利益成長率が期待できる企業に集中投資し、長期保有することにより高いリターンを目指します。新興国市場では様々なリスクが存在するため、健全な財務体質であることや透明なディスクロージャーを行っていることなどを重視し、長期的に信頼できる企業に選別投資を行ないます。

⑤T.ロウ・プライス・ファンズ SICAV-グローバル・アグリゲート・ボンド・ファンド

主要投資対象：国債、政府機関債、地方債、国際機関債、社債、モーゲージ、アセット・バック債など譲渡可能証券から成る広く分散されたグローバルなポートフォリオに主に投資します。

運用方針：リサーチ・リソースを最大限に活用して、グローバルに全ての投資機会を捉え、厳正なリスク管理を通じてリスク調整後のトータルリターン最大化を目指します。

⑥T.ロウ・プライス・ファンズ SICAV-US ラージキャップ・グロース・エクイティ・ファンド

主要投資対象：大型米国会社の譲渡可能株式および株式関連証券から成る広く分散されたポートフォリオに主に投資します。

運用方針：平均を上回る収益成長率が期待でき維持できる可能性がある企業へ重点を置いて投資し、長期的な元本成長をもたらすことを追求します。

⑦スパークス・集中投資・日本株ファンド S <適格機関投資家限定>

主要投資対象：マザーファンドを通じて国内の株式に投資します。

運用方針：ベンチマークや業種にとらわれず、魅力的と判断した国内の株式に集中投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して、積極的な運用を行います。長期的な投資時間軸を持つことで、マーケットに埋もれている投資機会の発掘に努めます。

⑧スパークス・長期厳選・日本株ファンド<適格機関投資家限定>

主要投資対象：わが国の株式を主要投資対象とします。

運用方針：わが国の金融商品取引所に上場している株式の中から、ベンチマークは設けず 20 銘柄程度に厳選投資を行い、原則として短期的な売買は行わず長期保有することを基本とします。

⑨アライアンス・バーンスタイン SICAV コンセントレイテッド US エクイティ・ポートフォリオ

主要投資対象：主に米国株式に投資します。

運用方針：非常に質が高く成長が期待できると判断する厳選された米国企業の株式等から構成されるアクティブ運用型の集中投資ポートフォリオに投資します。

⑩スパークス・ワンアジア厳選投資ファンド S <適格機関投資家限定>

主要投資対象：マザーファンドを通じて、日本を除くアジア・オセアニア地域の取引所に上場している株式等への投資を行います。

運用方針：個別銘柄調査に基づき、企業のビジネスの質や市場の成長性、経営に着目して、企業価値よりも株価が割安に放置されていると考えられる銘柄に選別投資します。

⑪コムジェスト日本株式ファンド<適格機関投資家限定>

主要投資対象：マザーファンドを通じて、日本の株式に投資します。

運用方針：高い利益成長率が期待できる企業に集中投資し、長期保有することにより高いリターンを目指します。投資先の企業の短期的な株価の値動きではなく、その企業の中長期的な利益成長に対して投資を行います。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

■お申込みメモ

- お申込受付日：原則として、毎営業日にお申込を受付けます。ただし、ニューヨーク、ロンドン、アイルランドの銀行休業日、ニューヨーク、ロンドンの証券取引所休業日のいずれかに該当する日には受付を行いません。
- お申込受付時間：原則として、午後 2 時までに受付けた申込みを当日の申込みとします。
- お申込価額：取得申込日の翌々営業日の基準価額
(当初元本は、1 口あたり 1 円)
- お申込単位：1 万円以上、1 円単位
定期積立プランの場合は 5 千円以上 1 千円単位
- お申込手数料：ありません
- ご解約受付日：原則として、毎営業日にご解約の請求を受付けます。ただし、ニューヨーク、ロンドン、アイルランドの銀行休業日、ニューヨーク、ロンドンの証券取引所休業日のいずれかに該当する日には受付を行いません。
- ご解約請求受付時間：原則として、午後 2 時までに受付けた解約請求を当日の請求とします。
- ご解約単位：1 口以上、1 口単位
- 解約代金のお支払い：原則として、解約請求受付日から起算して 6 営業日目にお支払いします。
- 解約価額：解約請求受付日の翌々営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額。
- 信託財産留保額：0.1%
- 信託設定日：2007 年 3 月 15 日
- 信託期間：無期限
- 決算日：毎年 12 月 10 日（休業日の場合は翌営業日）
- 収益分配：決算時（年 1 回）に収益分配方針に基づき、分配を行います。（基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行わないことがあります。）当ファンドは分配金再投資専用のため、分配金は税金を差し引いた後、自動で再投資いたします。
- 課税関係：収益分配時の普通分配金ならびにご解約時および償還時の譲渡益相当額（法人の場合は個別元本超過額）に対して税金※が課せられます。
※詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。税法等が改正された場合には、上記内容が変更になる場合があります。

■当ファンドに係るリスクについて

当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン資産形成の達人ファンド 6 月度運用レポート

■当ファンドに係る手数料等について

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

◆申込時に係る費用

申込手数料はかかりません。

◆解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して 0.1%の信託財産留保額が控除されます。

◆保管期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬

ファンドの純資産総額に年 0.5832% (税抜 0.54%) の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年 1.35%±0.2% (概算) となります。

その他費用

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 (有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む)、監査報酬 (消費税含む) および立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことが出来ません。

当該手数料の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは投資信託説明書 (交付目論見書) をご覧ください。

ダウ・ジョーンズ工業株価平均、S&P500、S&P/ASX200 指数、S&P/BSE SENSEX インド指数は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス (S&P DJI) の商品です。これらの指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、S&P DJI に帰属します。

S&P DJI は当指数等の情報に関し、その正確性・妥当性・完全性あるいは入手可能性を保証しません。また、S&P DJI は当指数等の情報の誤り、欠落についてその理由のいかんにかかわらず責任を負いません。また当指数等の使用による結果に対しても責任を負うものではありません。S&P DJI は当指数等の商品性あるいはその使用または特定の目的に対する適合性を含みますが、それに限定されるわけではなく、一切の明示的あるいは黙示的な保証を否認します。S&P DJI はファンドの受益者や他の人物等による当指数等の使用に関連したいかなる間接的、直接的な、特別なあるいは派生的な損害、費用、訴訟費用あるいは損失 (収入の損失、利益の損失、機会費用を含む) について一切の責任を負いません。

セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 349 号

加入協会:一般社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客様窓口 : 03-3988-8668

(受付時間 9:00~17:00 土日祝日、年末年始除く)

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書 (交付目論見書) の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時時点での記者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。